

AFP資格は、FPとして必要な基礎知識を十分に持ち、相談者に対して常に最新のサービスが提供できる確かなFP技能を持った、日本FP協会が独自に認定する信頼の資格です。AFP資格は認定時に会員倫理規程等の諸規程の順守の誓約が必要で、資格更新においても継続教育が義務付けられています。

常に最新の知識と
スキルを学んでいる。

一定レベルの
業務知識がある。

会員倫理規程を
順守する。



AFP認定者

AFP認定者の魅力

AFP認定者にはさまざまな魅力があります。

1 FP活動に役立つ情報を入手

会報『FPジャーナル』や会員ホームページ『Myページ』で、最新情報やレポート、各種法令や制度等の改正のポイント、各種データベース・統計データが入手できます。

2 人脈作り・ネットワーク構築

支部活動やスタディ・グループ(SG)への参加で、ほかのFPとの交流による情報取得や意見交換等の機会を得られ、研修やセミナーの参加で最新のFP知識が習得できます。

3 信用と信頼の「AFP資格」を取得

所定の研修を受講し、2年ごとの資格更新が義務付けられているため、新しい情報と知識で最適な提案ができます。さらに、会員倫理規程等順守の約定書の署名を必須としている点も、顧客の視点から信頼度が高いと言えます。

4 自分自身や家族のライフプランに役立つ

AFP認定者として得られる知識や視点は、結婚・出産・子育て・住宅・老後・相続といった、生活者でもある自分自身や家族のライフプランに関しても大いに役に立つものとなります。

5 AFP認定者になることで広がる可能性

金融機関への就職活動や社内におけるステータスの向上だけでなく、FPに関する講師・執筆等の仕事の領域が広がったり、キャリアアップ・キャリアチェンジへつながることもあります。さらなる信用・信頼のために、上級資格であるCFP®認定者へのステップアップも目指せます。

FPとしての
世界が広がる。

